

広島別院だより

Vol..20
春号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

ほうおんこう 報因心講が勤まる

十二月六日から七日まで報恩講が勤められました。二日間にわたり、雅楽の演奏を交えた法要や親鸞聖人のご一生を記した『御伝鈔』の拝読があり、遠近各地からの参詣者が別院本堂を満たしました。講師は安本浩樹師（安芸北組専光寺住職）が勤められました。以下、法話の抄録です。

「親尊のなされたお仕事は、真実を如来の名であるお念仏におさめて、人間がわが身を尽くし切って生きる道を開かれたことであり、親鸞聖人のなされたお仕事は、親尊の説かれたその本願念仏の教えこそが、闇に泣く人生に光をあてる真実の教えである」ということを自らの生涯を通して証明してくださいました。



講師：安本浩樹 師



の教えだったのである。

人は何のために生まれ、なぜ苦悩しながら生きなければならぬのか。本当の幸福や喜びとは一体何なのか。その問いを親鸞聖人ご自身が、私たちに先立って尋ね続けてくださった。

私たちにとって、真の幸福や喜びとは仏法に遇うことであり、仏法に遇うことによって本当の幸福や喜びが明らかになる。真の幸福とは苦悩が無いということではなく、むしろ本当に大切なことのために苦悩していける人生を賜るということである。

実は、そういう人生を尽くして生きたいという願いを、私たちは心の奥深いところで、抱えているのではないだろうか。

親鸞聖人が命終されて七五六年が経ったが、いつの時代においても、その教えは人々の渴ききった心を潤し続けている。

このほか、さまざま先人の言葉や自身の体験などを交えながらの法話に参詣者は真剣に耳を傾けていました。



『御伝鈔』拝読

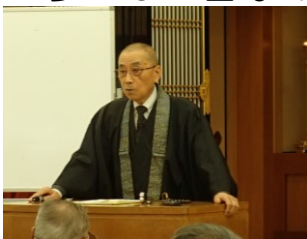
真宗基礎講座 終了

十二月十六日に「真宗基礎講座」(二〇一六年開講)の最終講義が開催されました。

宗門内外を問わず広く一般を対象に、古田和弘大谷大学名誉教授が『歎異抄』の講義をされました。

先に実施された「仏教基礎講座」から数えて三年以上、講師を務められた古田先生に受講者から惜しみない拍手がありました。

二〇一八年の夏からは新たな内容で講座を企画中です。(春頃に案内いたします)是非ともご参加ください。



講師：古田和弘 師

仏具のおみがきを行いました

十一月二十一日、仏具のおみがきを行いました。

安芸南組のご門徒（誓立寺・善福寺・正念寺など）を中心に二十名が参加し、仏具を磨き上げました。

ピカピカの仏具で、報恩講をお迎えすることができました。誠に有り難うございました。



お寺のハテナ？

うちしき 打敷



打敷は金襴などで作られた三角形の敷物です。お内仏の上卓と前卓に掛けます。

平常は用いませぬ。打敷を掛けるのは左記のとおりです。

* 祥月命日以上の年忌法要

* 中陰

* 正月

* 春秋の彼岸

* お盆

* 報恩講

※中陰の時には白地の打敷を掛けます。白地の打敷が無い場合には、普通の打敷の裏地を用いる場合もあるようです。



法座・講座等の御案内

広島別院春彼岸会

【期日】 三月二十二日(木)

【講師】 講師 和田隆彦 師 (安芸南組 超覚寺住職)

日程 一四：〇〇～勤行と法話

一六：〇〇 終了予定

広島別院春彼岸会をお勤めいたします。お誘いあわせのうえ、ご参詣ください。



道場樹【編集室より】

最近はいろいろな葬儀があるようです。私の地域の一般的な型(流れ)は、枕経・通夜・葬儀・還骨(初七日)というものですが、先日この型とは違う葬儀を行うことになりました。

「主人の火葬が終わったので、お経をあげてもらえませんか」という女性からの電話に戸惑いましたが、いろいろと事情を聞いて先方の希望を受け入れて、自坊の本堂にお骨を持って参りいただくことになりました。

勤行のあと、話をさせていただきました。二十九歳になったばかりという長男とその妹さんがとても真剣に一言一句に耳を傾けていました。これまでに経験したことがないほど、真剣な聴聞の姿勢に心をつたれました。

定型を破るいわば「いきなり葬」なるものを終えた皆さんはホッとしたり安堵の表情でお寺を後にされました。私にとっては「人はなぜ葬式をするのか」という問いかけとその答えをいただく縁でもありました。

(M・M)

◎定例法話

毎月 5日

日程 14：00～勤行と法話

15：00 終了予定

講師 県内僧侶(月替わり)

広島別院開基 教如上人の御命日(毎月5日)に法話会があります。

真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342(電話・FAX 共通)

【HP アドレス】 <http://hiroshimabetsuin.com/>



<安芸北組妙蓮寺の境内(1月22日撮影)>

今年は山間部に限らず、都市部でも降雪があります。皆さんご移動の際はお気をつけて。